

BDSP50A56・BDSP50A80・BDSP50A160

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 - この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
- 正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。**
- この取扱説明書は室内ユニットに付属の取扱説明書とあわせて保管してください。
 - エアフィルターの清掃方法は室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

安全について 必ず守ってください

ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
- いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

	警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
	注意	誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

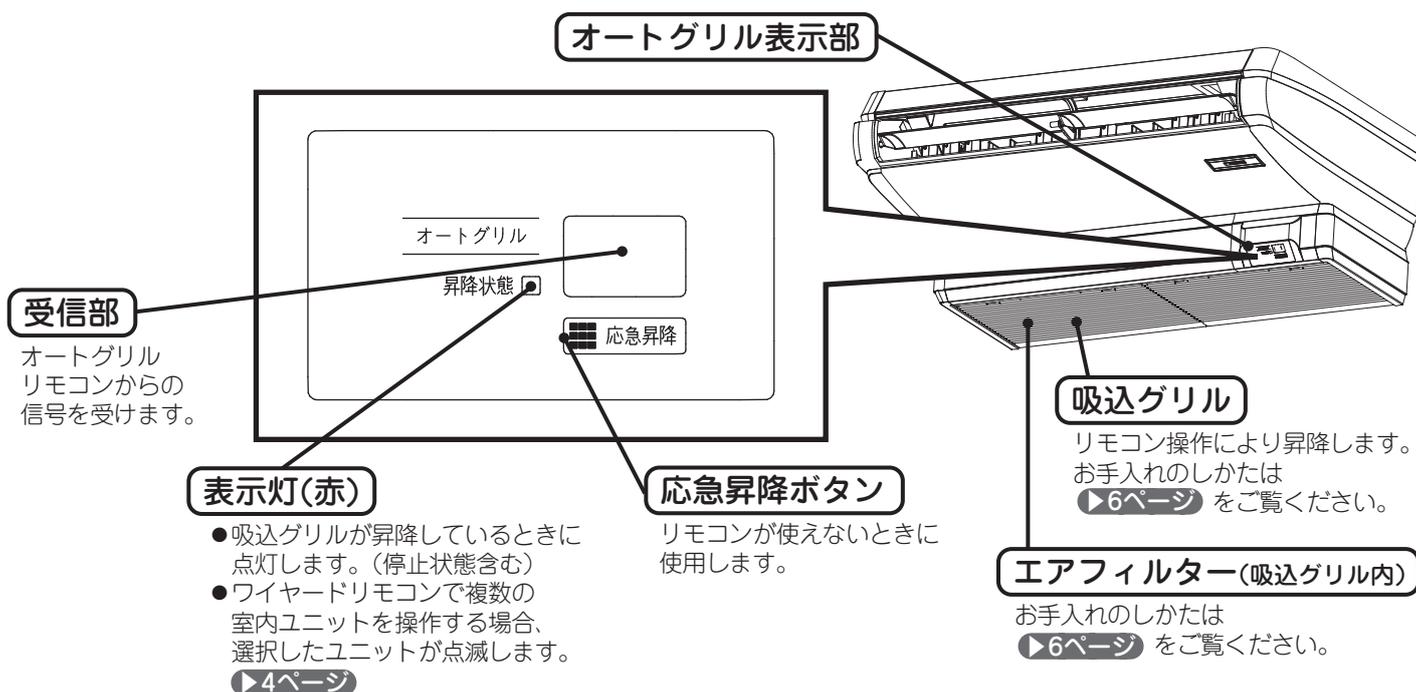
- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
---	--------------	---	------------------

		● 吸込グリルの上に物を載せない、ぶら下からない 吸込グリルはワイヤ2本吊りです。物を載せるとバランスがくずれ、落下や破損・転倒によるけがの原因になります。
		● 吸込グリルを揺らさない 周囲のものに当たったり吸込グリルが落下して、物の破損やけがの原因になります。
		● 吸込グリルを引っぱらない 無理に引き出したり、引っぱったり、止めたりすると、駆動系が破損し吸込グリルが落下して、物の破損やけがの原因になります。
		● 吸込グリルの昇降経路に障害物を置かない 昇降経路に障害があると吸込グリルが落下し、物の破損やけがの原因になります。 また、駆動系の故障の原因になります。
		● ワイヤは折り曲げたり、傷つけたり、火を近づけたりしない ワイヤが切断し吸込グリルが落下して、物の破損やけがの原因になります。
		● 吸込グリルを取り外さない ワイヤに傷を付けたり、誤った取付けかたをすると、吸込グリルが落下して物の破損やけがの原因になります。
		● 吸込グリルの昇降操作をするときは、必ずエアコンの運転を停止する エアコンを運転している場合、吸込気流により吸込グリルが上向きに引っぱられ、次のような不具合が発生するおそれがあります。 ・エアフィルターにホコリが詰まってくると、吸込グリルが降りてこない。 ・昇降動作時、吸込グリルが斜めになる。 ・吸込グリルが正しく収まらない。
	● 応急昇降時、エアコンの運転を停止する 安全のためエアコンは必ず停止してください。	
		● 連続して繰り返しての昇降操作をしない また、吸込グリルを降ろしたままにしない けがや故障の原因になることがあります。
		● 乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない 誤操作による体調悪化やけが、電池誤飲の原因になることがあります。
		● 吸込グリルを取り付けない状態、またはワイヤをたるませた状態で昇降動作をさせない ワイヤがからまり故障の原因になることがあります。
		● 吸込グリルの真下で応急昇降ボタンを押さない 吸込グリルと接触しけがの原因になることがあります。
		● 吸込グリルを昇降させるときは、周囲の安全を確認してから操作する 吸込グリルが人や物に接触し、けがや損傷を与える原因になることがあります。
		● エアフィルターを確実に取り付ける 昇降動作時エアフィルターが落下し、物の破損やけがの原因になることがあります。 また、吸込グリルが収納されず、故障の原因になることがあります。
		● 足場に気をつける 応急昇降ボタン操作時は高所作業のため、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。

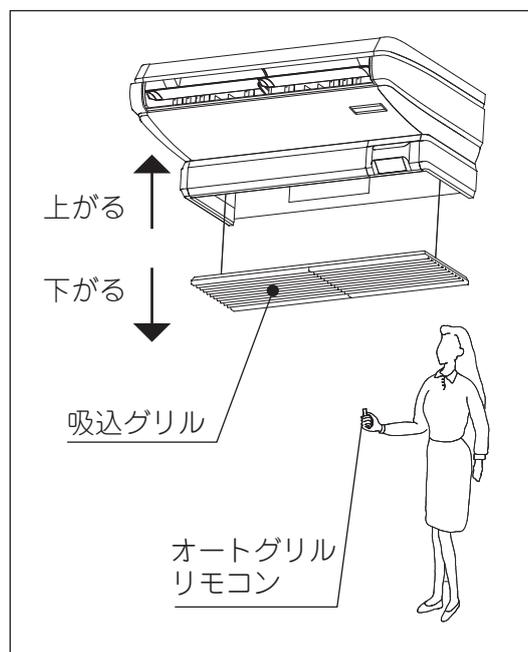
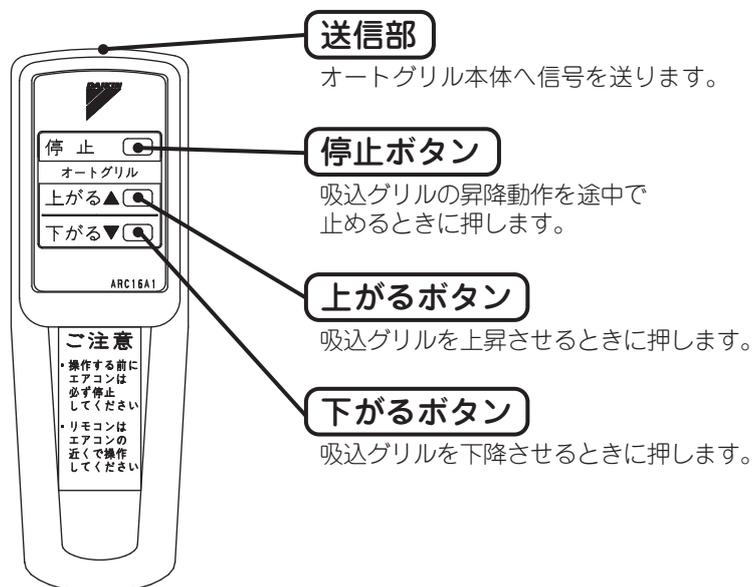
オートグリル本体各部の名前と働き

オートグリル本体



オートグリルリモコン(別売品)BRC16A1から操作する場合

オートグリルリモコン(別売品)BRC16A1

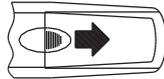


オートグリルリモコン(別売品)の取扱いについて

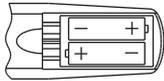
- 送信部はオートグリル本体の近くから受信部に向けてください。
オートグリル本体とリモコンの間にカーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しません。
- 送信距離は約5m以内です。
 - インバーター蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けない場合があります。
新しく蛍光灯をお買い上げになる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - リモコンでほかの電気機器が作動する場合は電気機器を離すか、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 落としたり、水をかけたりしないでください。
故障の原因になることがあります。
- リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。
故障の原因になることがあります。

電池の入れかた

- ①リモコン裏面のふたを矢印の方向へ開けます。

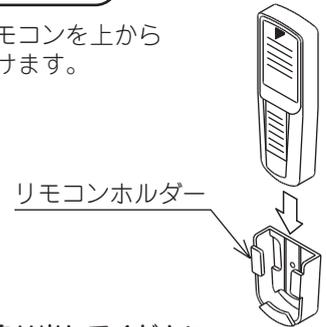


- ②電池を入れます。
単3を2個お使いください。
電池収納部の表示どおりに(+)(-)を正しく合わせて入れ、ふたを元に戻します。



壁や柱などに取り付ける場合

リモコンホルダーにリモコンを上からスライドさせて取り付けます。



注意

- 電池は、古いものや、種類のちがうものをまぜて使わないでください。
- 電池は、充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないでください。
- 電池の漏液による故障をさけるため、長期間お使いにならないときは電池をすべて取り出してください。
- 作動しなかったり、送信距離が短くなったときは、電池をすべて新しいものと交換してください。

吸込グリルの昇降のしかた



警告



禁止

- 吸込グリルの昇降経路に障害物を置かない
昇降経路に障害があると吸込グリルが落下し、物の破損やけがの原因になります。
また、駆動系の故障の原因になります。



- 吸込グリルの昇降操作をするときは、必ずエアコンの運転を停止する
エアコンが運転している場合、吸込気流により吸込グリルが上向きに引っ張られ、次のような不具合が発生するおそれがあります。
 - ・フィルターにホコリが詰まってくると、吸込グリルが降りてこない。
 - ・昇降操作時、吸込グリルが斜めになる。
 - ・吸込グリルが正しく収まらない。



吸込グリルを下げる

- 「下がる▼」を押します。
表示灯が点灯し、吸込グリルが下降します。
一定の距離下降後、自動停止します。
(自動停止距離の設定を変更したい場合はお買い上げの販売店にご相談ください。)

吸込グリルを上げる

- 「上がる▲」を押します。
表示灯が点灯し、吸込グリルが上昇します。
吸込グリルがオートグリル本体へ収納された時点で自動停止します。

昇降中の吸込グリルを停止させる

- 「停止」を押します。
任意の位置で止まります。

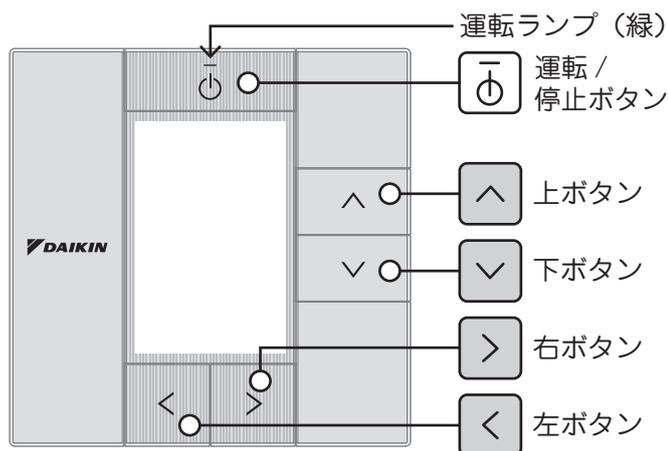
注意

- 吸込グリル下降時、ホコリが落ちることがあります。
- 吸込グリルの位置初期化のため、電源投入後すぐに吸込グリルが自動で上昇します。
このとき、昇降操作を行っても指示を受けつけない場合があります。
昇降操作は吸込グリルが収納された後で行ってください。

ワイヤードリモコンから操作する場合

- 本製品はオートグリルリモコン(別売品)とワイヤードリモコンから操作できます。
- ワイヤードリモコンからの操作ができない機種があります。
ワイヤードリモコンから操作ができない機種は、メニューに「オートグリル昇降操作」が表示されません。
オートグリルリモコン(別売品)で▶3ページ▶を参考に操作してください。
- 本取扱説明書はBRC1Gシリーズの場合について記載しています。
- ワイヤードリモコンが管理している室内ユニット(オートグリル本体)の吸込グリルを昇降させます。
リモコンの位置から昇降操作をする室内ユニットが見えないと下降する吸込グリルに人や物が接触し、けがをしたり、接触した物や吸込グリルが破損するおそれがありますので、リモコンが管理するすべての室内ユニットが見える位置にリモコンを設置してください。
- 本文中に説明のない機能および操作方法についてはワイヤードリモコンの取扱説明書をご覧ください。

操作ボタンは以下の絵表示を使って説明します。



ボタン絵表示がこんなときは

- 矢印が2重 複数回押してください。
- 色が反転 長押ししてください。

運転/停止ボタン

- 1度押すと運転し、再度押すと停止します。

運転ランプ(緑)

- 運転中：緑色に点灯 ●停止中：消灯
- エラー発生時：緑色で点滅

液晶表示部(バックライト付)

- 操作ボタンのどれかを押すとバックライトが約30秒間点灯します。
- ボタン操作は、バックライト点灯中に行ってください。(ただし、運転/停止ボタンを除きます。)
- 1台の室内ユニットに2台のリモコンが接続されている場合、先にボタン操作したリモコンのみバックライトが点灯します。(ボタン操作については、バックライトが消灯しているリモコンでも有効です。)

左・右・上・下ボタン

- 反転表示を左右上下方向に移動するとき、または選択・設定の確定を行うときに使用します。

吸込グリルの操作方法

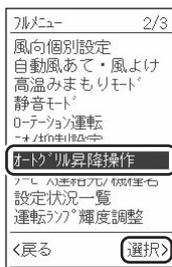
警告

禁止

●吸込グリルの昇降経路に障害物を置かない
昇降経路に障害があると吸込グリルが落下し、物の破損やけがの原因になります。また、駆動系の故障の原因になります。

操作方法

1

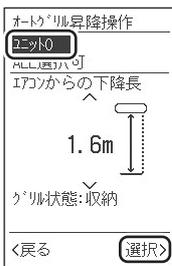


- フルメニュー画面で上下ボタンを押し、「オートグリル昇降操作」を反転表示します。
- 右ボタンを押し、選択します。

フルメニューの表示方法

ワイヤードリモコンの基本画面で左右ボタンを3秒同時に長押しします。

2



- 上下ボタンを押し、吸込グリルを昇降させる室内ユニットを反転表示します。
- 右ボタンを押し、選択します。

接続している室内ユニットの台数に応じて、下記のいずれかが表示されます。

- ・ユニットA、B、C、D、ALL*
- ・ユニット0~15、ALL*

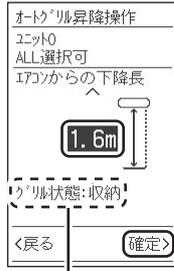
※ユニットALLを選択した場合、接続しているすべての室内ユニットの吸込グリルが昇降します。
※室内ユニットが複数接続されている場合に、「ALL選択可」と表示が出ます。



選択した室内ユニットの確認方法

選択した室内ユニットはオートグリル表示部の表示灯が点滅します。表示灯まで距離があり、見えにくい場合は、下降長0.3mで操作し室内ユニットを確認してください。

3



グリルの状態を表示しています。



●上下ボタンを押し、ご希望の下降長を反転表示します。

収納 ↔ 0.3m ↔ 0.6m ↔ 0.9m ……

※ユニットを選択したときに表示される下降長は、選択した室内ユニットから吸込グリルまでの高さです。
※工場出荷時は、最大の下降長は1.6mに設定しています。

最大の下降長を変更したい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
(1.2m/1.6m/2.0m/2.4m/2.8m/3.1mの設定変更ができます。

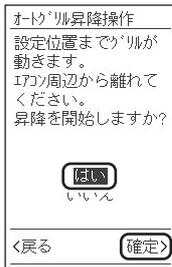
距離は目安です。オートグリルリモコン使用時も設定内容が反映されます。)

※複数の室内ユニットの最大下降長を個別に設定できます。

その場合、「ユニットALL」を選択したときのリモコンに表示される最大下降長は、個別に設定した値のなかで一番大きな値となります。

●右ボタンを押し、確定します。

4



●上下ボタンを押し、「はい」を反転表示します。

●右ボタンを押し、確定すると、吸込グリルが下降して、オートグリル昇降操作画面に戻ります。

※「グリル状態」が、「収納」→「指示中」→(「下降中」)→「停止中」に変わります。

このとき、表示灯は点灯します。

※昇降動作中は途中停止できません。

5

●お手入れのしかた(▶6ページ)を参照してエアフィルターを清掃します。

吸込グリルを収納する操作方法

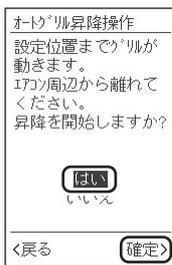
操作方法

1



●右ボタンを長押しします。設定確定画面が表示されます。

2



●上下ボタンを押し、「はい」を反転表示します。

●右ボタンを押し、確定すると、吸込グリルが上昇して、オートグリル昇降操作画面に戻ります。

※エアコンからの下降長で「収納」を選択しても吸込グリルは上昇します。

※1の表示の「グリル状態」が、「停止中」→「指示中」→(「上昇中」)→「収納」に変わります。

※上昇中は途中停止できません。

●左ボタンを2回押しすと、フルメニュー画面に戻ります。

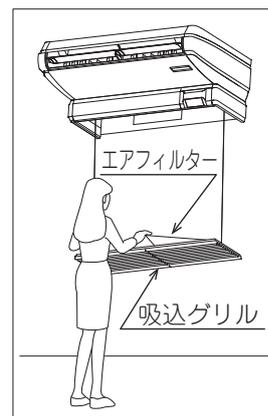
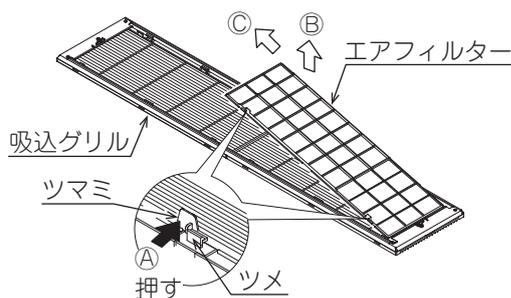
もう1回押しすと基本画面に戻ります。

お手入れのしかた

エアフィルターの取外し・取付けかた

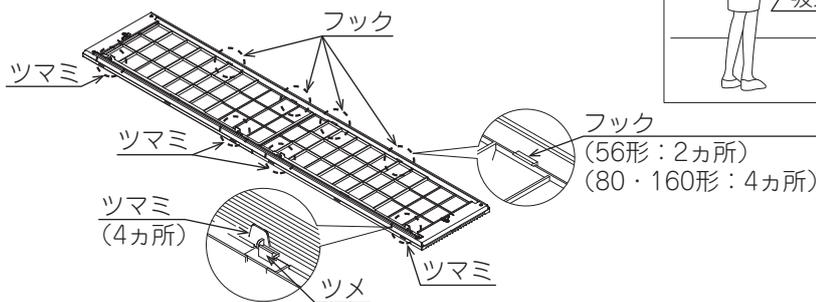
取外しかた

- ①エアフィルターのツマミを矢印の方向(A)に押しながら吸込グリルのツメから外してください。
- ②矢印(B)の方向にエアフィルターを引き上げ、中央方向(C)にスライドさせて、エアフィルターを外してください。



取付けかた

- ①「取外しかた」と逆の手順でエアフィルターを吸込グリルに取り付けてください。
- ②吸込グリルのフックにエアフィルターを掛け、エアフィルターのツマミを吸込グリルのツメに引っ掛けてください。



エアフィルターの清掃方法およびフィルターサインリセットの方法は、室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。



注意



●エアフィルターを確実に取り付ける

昇降動作時エアフィルターが落下し、物の破損やけがの原因になることがあります。また、吸込グリルが収納されず、故障の原因になることがあります。

吸込グリルの清掃のしかた



警告



禁止

●吸込グリルを揺らさない

周囲のものに当たったり吸込グリルが落下して、物の破損やけがの原因になります。



禁止

●吸込グリルを取り外さない

ワイヤに傷を付れたり、誤った取付けかたをすると、吸込グリルが落下して物の破損やけがの原因になります。



注意



禁止

●吸込グリルを取り付けない状態、またはワイヤをたるませた状態で昇降動作をさせない

ワイヤがからまり故障の原因になることがあります。

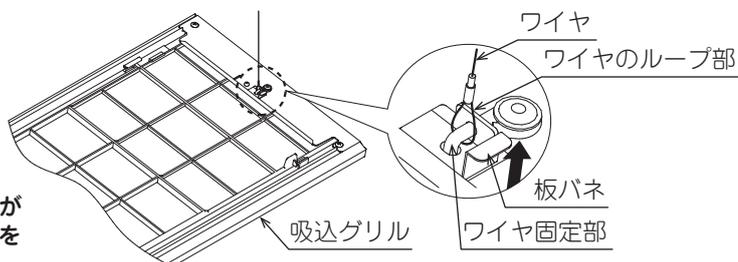
- ①エアフィルターを取り外してください。

(取外しかたは、上記エアフィルターの「取外しかた」の項目を参照してください。)

- ②吸込グリルは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがとれないときは水か中性洗剤を含ませてください。

お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 乾燥させる場合は火であぶらないでください。燃える原因になることがあります。
- 吸込グリル清掃後はワイヤ先端のループ部が下図のように取り付けられていることを確認してください。



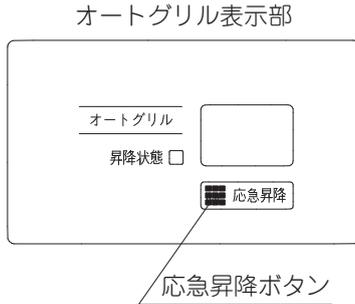
板バネが矢印の方向に最後まで戻り、ワイヤのループ部が確実に固定部に掛かっていることを確認してください。

応急昇降について

何らかの理由で昇降操作ができない場合(オートグリルリモコンの電池切れや紛失など)に、応急昇降ボタンをお使いください。

		● 応急昇降時、エアコンの運転を停止する 安全のためエアコンは必ず停止してください。
		● 吸込グリルの真下で応急昇降ボタンを押さない 吸込グリルと接触しけがの原因になることがあります。
		● 足場に気をつける 応急昇降ボタン操作時は高所作業のため、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。

吸込グリルの状態により応急昇降ボタンの操作方法が変わります。



吸込グリルが収納されている場合	吸込グリルが収納されていない場合
<p>動作モードは必ず下降から始まります</p> <p>下降 : 応急昇降ボタンを押し続ける</p> <p>下降停止 : 応急昇降ボタンを離す</p> <p>上昇 : 応急昇降ボタンを押す</p> <p>上昇停止 : 応急昇降ボタンを再度押す</p>	<p>動作モードは必ず上昇から始まります</p> <p>上昇 : 応急昇降ボタンを押す</p> <p>上昇停止 : 応急昇降ボタンを再度押す</p> <p>下降 : 応急昇降ボタンを押し続ける</p> <p>下降停止 : 応急昇降ボタンを離す</p>

調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

症 状	原 因	処 置
昇降操作しても 吸込グリルが動かない	停電ではありませんか？	停電復帰後、再操作してください。
	オートグリルリモコンに電池は入っていますか？	電池を入れてください。
	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。
吸込グリルが収納できない (上昇しない)	エアフィルターの上に物が載っていませんか？ エアフィルターはきちんと取り付けられていますか？	異物は取り除き、エアフィルターはきちんと取り付けてください。
吸込グリルが1~2cm程度傾く	左右のワイヤの巻き取りにずれが生じるためです。	エラーではありません。
吸込グリルが途中でとまる (それ以上、下らない)	障害物(机や棚など)の上に載っていませんか？	障害物を取り除いてください。 ワイヤがたるむと自動で停止します。
	吸込グリルが最大の下降長まで降りたためです。	エラーではありません。 (最大の下降長を変更したい場合はお買い上げの販売店にご依頼ください。)
昇降動作中に音がする 「カチカチ」・「パキン」	昇降装置が作動している音です。	エラーではありません。
吸込グリル収納後、数秒間音がする 「ジリジリ」・「ガタガタ」	ワイヤの巻取りのたるみをとっているためです。	エラーではありません。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理なさらずお買い上げの販売店にご相談ください。

次の場合は販売店にご連絡ください。

症 状	次の処置をしてから連絡を
ワイヤが切れた	エアコンの運転を停止してください。
ワイヤの片側は上がるが反対側は上がらない	
操作したい方向と逆の動作をする(例:「上昇」の操作で「下降」の動作をする)	

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名 _____ TEL _____ 据付年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 **0120-88-1081** (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは **0120-07-0881** (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。
(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P354401-2B

M16A055 [1703] 